

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	楽農学校事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	13,923千円	14,240千円	15,021千円	15,682千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	13,923千円	14,240千円	15,021千円	15,682千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(8,958千円)	(2,811千円)	(2,718千円)	(2,809千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(1,765千円)	(1,653千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(4,965千円)	(9,664千円)	(10,650千円)	(12,873千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人			
			16,267千円	16,222千円	16,027千円	16,169千円			
		職員給与費 a	14,114千円	14,069千円	13,874千円	13,851千円			
		賞与引当金繰入額 b	981千円	981千円	981千円	986千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,172千円	1,172千円	1,172千円	1,332千円				
総コスト（①+②）	従事人員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人				
		30,190千円	30,462千円	31,048千円	31,851千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[986千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人)	目標	1,120	1,130	1,140	1,150	1,200	
	（ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標)）	実績（見込）		1,187	1,131	(1,140)	(1,150)	【7年度】	
		（単位当たりコスト）		(25千円)	(27千円)	(27千円)	(28千円)		
		[うち事業拡大分]		—	—	[1千円]	—		
		達成率（見込）		106.0%	100.1%	(100.0%)	(100.0%)		
	楽農学校就農コースを修了した新規就農者数(人) (事業実施計画数)	目標		20	20	25	25	25	
		実績（見込）		18	18	(20)	(25)		
		（単位当たりコスト）		(1,677千円)	(1,692千円)	(1,552千円)	(1,274千円)		
		[うち事業拡大分]		—	—	[49千円]	—		
達成率（見込）		90.0%	90.0%	(80.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が暮らしの中で「食」と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、全県拠点である兵庫楽農生活センターにおいて、基礎的な栽培技術の習得から本格的な就農まで多様なニーズに応じた講座を実施することが必要である。 ・ 平成30年度の楽農生活交流人口は目標値を上回っており、楽農生活実践者の裾野の拡大が進んでいる。 ・ 平成30年度の楽農学校就農コースを修了した新規就農者数は目標値の90%に至っており、次代の担い手育成に大きく貢献している。 ・ 単位当たりコストも概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	ひょうご市民農園整備推進事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	3,218千円	6,689千円	72,636千円	72,632千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	3,187千円	6,658千円	72,610千円	72,610千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	31千円	31千円	26千円	22千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(58,600千円)	(58,600千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(3,218千円)	(6,689千円)	(14,036千円)	(14,032千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
			2,711千円	2,603千円	2,671千円	2,695千円			
		職員給与費 a	2,352千円	2,345千円	2,312千円	2,309千円			
		賞与引当金繰入額 b	164千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		195千円	94千円	195千円	222千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人				
		5,929千円	9,292千円	75,307千円	75,327千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	登録市民農園数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目標	440	450	460	470	470		
		実績（見込）	426	414	(414)	(470)	【2年度】		
		（単位当たりコスト）	(14千円)	(22千円)	(182千円)	(160千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	96.8%	92.0%	(90.0%)	(100.0%)				
	楽農生活交流人口(万人) （ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標)）	目標	1,120	1,130	1,140	1,150	1,200		
		実績（見込）	1,186	1,131	(1,145)	(1,150)	【7年度】		
		（単位当たりコスト）	(5千円)	(8千円)	(66千円)	(66千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	105.9%	100.1%	(100.4%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験を希望する都市部住民に対して、より身近な農業体験の実践の場として市民農園を整備することが、県民が「食」と「農」に親しむ楽農生活や都市農村交流への気運の醸成を図るうえで有効である。 ・多様な実施主体を対象に助成し、着実に効果を上げる中、事業コストも効率的な負担に努めている。 ・目標達成について、楽農生活交流人口だけでなく、登録農園数でも達成できるように、今後も効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」	所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班
事業名	都市農村交流バス運行支援事業（平成16年度～）	連絡先	078-362-9198

事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額
	事業費①			12,539千円	11,631千円	15,095千円
経費内訳	報酬・賃金		0千円	0千円	0千円	0千円
	委託料		0千円	0千円	0千円	0千円
	補助金・交付金		12,539千円	11,631千円	15,095千円	12,595千円
	貸付金		0千円	0千円	0千円	0千円
	その他需用費等		0千円	0千円	0千円	0千円
（財源内訳）	（国庫支出金）		(6,269千円)	(5,815千円)	(7,547千円)	(0千円)
	（県債）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（その他[地域創生基金]）		(6,270千円)	(5,816千円)	(7,548千円)	(0千円)
	（一般財源）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(12,595千円)
人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			904千円	868千円	891千円	899千円
	職員給与費 a		784千円	782千円	771千円	770千円
	賞与引当金繰入額 b		55千円	55千円	55千円	55千円
	退職手当引当金繰入額 c		65千円	31千円	65千円	74千円
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			13,443千円	12,499千円	15,986千円	13,494千円
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標		1,120	1,130	1,140	1,150
実績(見込)			1,187	1,131	(1,140)	(1,150)	【7年度】
(単位当たりコスト)			(11千円)	(11千円)	(14千円)	(12千円)	/
[うち事業拡大分]			-	-	-	-	
達成率(見込)			106.0%	100.1%	(100.0%)	(100.0%)	
都市農村交流バス乗車人数(人)		目標		-	12,500	12,500	
(兵庫県地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	実績(見込)		-	11,211	(12,500)	(10,000)	/
	(単位当たりコスト)		-	(1千円)	(1千円)	(1千円)	
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-	
	達成率(見込)		-	89.7%	(100.0%)	(100.0%)	

評 価
 ・ 県民が暮らしの中で「食」と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、農村部と都市部との相互交流の推進が必要である。
 ・ 平成30年度の楽農生活交流人口は目標値を上回っており、楽農生活実践者の裾野の拡大が進んでいる。また、30年度から乗車人数を目標値に設定し、交流人口の一層の拡大に取り組んでいる。
 ・ 令和2年度からは1泊2日に限定していた宿泊制限数を撤廃し、より使いやすい制度とすることで、滞在型農林漁業体験事業への参加やより広範囲での都市農村交流を促進し、さらなる実績増につなげることとする。
 ・ 単位当たりコストも概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。

3年目の見直し

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	地域楽農生活センター開設支援事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	—		—		12,156千円		18,700千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		—		0千円		0千円
		委託料	—		—		0千円		0千円
		補助金・交付金	—		—		12,000千円		18,500千円
		貸付金	—		—		0千円		0千円
		その他需用費等	—		—		156千円		200千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		—		(6,078千円)		(9,350千円)
		（県債）	—		—		(0千円)		(0千円)
		（その他〔特定（地域創生基金）〕）	—		—		(6,078千円)		(9,350千円)
		（一般財源）	—		—		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		—		0.3人		0.3人
			—		—		2,671千円		2,695千円
		職員給与費 a	—		—		2,312千円		2,309千円
		賞与引当金繰入額 b	—		—		164千円		164千円
退職手当引当金繰入額 c		—		—		195千円		222千円	
総コスト（①+②）	従事人員	—		—		0.3人		0.3人	
		—		—		14,827千円		21,395千円	
	[うち事業拡大分]	—		—		[0千円]		[6,544千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目 標	—	—	1,140	1,150	1,200	
		実績(見込)	—	—	(1,140)	(1,150)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	(13千円)	(19千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[6千円]			
		達成率(見込)	—	—	(100.0%)	(100.0%)			
	地域楽農生活センター開設箇所数(事業実施計画数)	目 標	—	—	4	7	10		
		実績(見込)	—	—	(2)	(7)	【4年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	(7,414千円)	(3,056千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[935千円]			
	達成率(見込)	—	—	(50.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫楽農生活センターと連携し、楽農生活に係る情報発信、楽農生活推進に資する体験イベントや野菜等栽培講座の実施など、県下各地域で「農」の学びや体験の場の創出を支援することにより、楽農生活実践者の一層の拡大を図る上で有効である。 ・令和2年度からは栽培講座に「ビギナー講座」を新たに設け、楽農生活実践者の裾野拡大を図る。 ・地域楽農生活センター開設者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	安全なくらし			所管課班	農業改良課植物防疫担当			
事業名	ウメ輪紋病緊急防除対策事業（平成25年度～）			連絡先	078-362-9206			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	86,755千円	86,341千円	124,412千円	26,690千円			
	経費内訳	報酬・賃金	8,602千円	9,846千円	9,000千円	4,958千円		
		委託料	44,000千円	43,162千円	50,000千円	4,170千円		
		補助金・交付金	15,083千円	12,070千円	35,912千円	5,200千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	19,070千円	21,263千円	29,500千円	12,362千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(86,755千円)	(86,341千円)	(124,412千円)	(26,690千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	5.0人	4.0人	4.0人	4.0人		
			45,185千円	34,708千円	35,616千円	35,932千円		
		職員給与費 a	39,205千円	31,264千円	30,832千円	30,780千円		
		賞与引当金繰入額 b	2,725千円	2,192千円	2,180千円	2,192千円		
退職手当引当金繰入額 c		3,255千円	1,252千円	2,604千円	2,960千円			
総コスト（①+②）	従事人員	5.0人	4.0人	4.0人	4.0人			
		131,940千円	121,049千円	160,028千円	62,622千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目標	100	100	100	100	100	
	根絶確認調査の実施(%)	実績（見込）	100	100	(100)	(100)	【毎年度】	
		（単位当たりコスト）	(1,319千円)	(1,210千円)	(1,600千円)	(626千円)	/	
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-		
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	感染樹の処分(%)	目標	100	100	-	-		-
		実績（見込）	100	100	-	-	【毎年度】	
		（単位当たりコスト）	(1,319千円)	(1,210千円)	-	-	/	
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-		
達成率（見込）	100.0%	100.0%	-	-				
評価	<p>植物防疫法に基づく国からの協力指示により、ウメ輪紋病の緊急防除と他の産地への被害拡大防止を実施してきたが、令和元年5月、これまでの緊急防除対策で蓄積された知見を基に、国が今後の防除対策を見直し、令和2年度末までの2年間、感染樹の調査及び伐採を中止し、ウメ以外の宿主植物（アンズ・スモモなど）の経済的被害の知見を集積することを基本とする試行的措置に移行し、感染樹の伐採処分などが廃止された。県は国の方針に基づき、ウメ輪紋病の緊急防除区域の指定解除に向けて、引き続き、防除対策等の取組を実施する。なお、令和3年度以降の防除対策については、試行的期間に得た知見を元に令和2年度末に決定される見込み。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	安全な暮らし		所管課班	農地整備課農村環境室 ため池水利班			
事業名	ため池保全管理対策推進事業（平成30年度～）		連絡先	078-362-3432			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①	-	16,000千円	18,000千円	18,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金	-	0千円	0千円	0千円	
		委託料	-	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	-	16,000千円	18,000千円	18,000千円	
		貸付金	-	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	-	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-	(0千円)	(12,000千円)	(12,000千円)	
		（県債）	-	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）	-	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	-	(16,000千円)	(6,000千円)	(6,000千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			-	8,677千円	8,904千円	8,983千円	
		職員給与費 a	-	7,816千円	7,708千円	7,695千円	
		賞与引当金繰入額 b	-	548千円	545千円	548千円	
退職手当引当金繰入額 c		-	313千円	651千円	740千円		
総コスト（①+②）	従事人員	-	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人		
		-	24,677千円	26,904千円	26,983千円		
	[うち事業拡大分]	-	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	ため池保全サポートセンターによるパトロールを実施したため池数	目標	-	1,700	1,700	1,700	1,700
		実績（見込）	-	1,595	(1,100)	(1,700)	【毎年度】
		（単位当たりコスト）	-	(15千円)	(24千円)	(16千円)	/
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
	達成率（見込）	-	93.8%	(64.7%)	(100.0%)		
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績（見込）	-	-	-	-	-
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	/
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
達成率（見込）	-	-	-	-			
評価	<p>・「兵庫ため池保全協議会（構成員：市町等）」から委託を受け、県土地改良事業団体連合会は、専門スタッフを県下2箇所（三木市・淡路市）に配置し、「ため池保全サポートセンター」の業務を平成30年6月から全県展開している。</p> <p>・「ため池保全サポートセンター」では、老朽化や耐震不足が懸念されるため池の適正管理を目的として、ため池管理者を対象とした相談・対応や、専門スタッフによる技術的な指導・助言を実施している。</p> <p>・コストに対する受益と負担の適正化を図るため、国庫補助を除いた事業コストの負担割合を県1/2、市町1/2としている。</p>						
3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	環境政策課活動支援班			
事業名	ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9895			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	8,090千円	14,829千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	3,917千円	3,992千円			
		委託料	—	—	0千円	0千円			
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	4,173千円	10,837千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔環境保全基金〕）	—	—	(8,090千円)	(14,829千円)			
		（一般財源）	—	—	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
		—		—		8,904千円		8,983千円	
		職員給与費 a	—	—	7,708千円	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	651千円	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
	—		—		16,994千円		23,812千円		
	[うち事業拡大分]		—		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	派遣環境体験プログラム実施園数	目標	—	—	60	450	1,500		
		実績（見込）	—	—	(60)	(450)	【4年度】		
	※派遣環境体験プログラム環境体験プログラムを実施した園数	（単位当たりコスト）	—	—	(283千円)	(53千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・持続可能な社会づくりのためには、それを支える人づくりが必要である。そのための一つの取組として、県内全ての幼児が、一定の専門性を踏まえた派遣環境体験プログラムを継続的に体験できる体制を構築する。</p> <p>・単位あたりのコストは元年度当初予算とほぼ同じだが、派遣環境体験プログラムの実施予定数の増加により、2年度の当初予算額が増加した。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	水大気課水質班			
事業名	豊かで美しい瀬戸内海の創生(平成28年度～)				連絡先	078-362-3291			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	19,000千円		6,801千円		12,173千円		14,024千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	15,948千円		3,999千円		9,203千円		10,867千円
		補助金・交付金	2,271千円		2,248千円		2,500千円		2,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	781千円		554千円		470千円		657千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[環境保全基金])	(0千円)		(6,599千円)		(8,205千円)		(175千円)
		(一般財源)	(19,000千円)		(202千円)		(3,968千円)		(13,849千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト(①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		28,037千円		15,478千円		21,077千円		23,007千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		藻場等の再生創出面積(m ²)	目標	250	250	150	150	累計13,800	
	(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	実績(見込)		400	300	(150)	(150)	【2年度】	
		(単位当たりコスト)		(71千円)	(53千円)	(141千円)	(153千円)	/	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
		達成率(見込)		160.0%	120.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	藻場・干潟の再生創出支援事業に取り組む地域団体数	目標		5	5	5	5	5	
		実績(見込)		5	5	(5)	(5)	【2年度】	
		(単位当たりコスト)		(5,607千円)	(3,096千円)	(4,215千円)	(4,601千円)	/	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・近年、漁獲量の減少等、瀬戸内海の生物多様性・生産性の低下が大きな問題となっていることから、新たに栄養塩循環メカニズムの研究の実施等豊かで美しい瀬戸内海の創生に向けた取り組みを行う。</p> <p>・播磨灘等環境保全協議会では、学識経験者、関係機関(国、関係市)、漁業関係者、事業者などの各主体と連携し事業を進めることとしている。</p> <p>また、地域で同種の活動を行うノウハウのある団体や専門的な知見のある民間事業者を活用することにより、コストを抑えつつ効果の高い事業実施を図っている。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地			所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	・シカ有害捕獲促進支援事業（平成19年度～） ・シカ有害捕獲専任班支援事業（平成23年度～） ・狩猟期シカ捕獲拡大事業（平成22年度～）			連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	165,937千円	213,397千円	257,605千円	239,762千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	79,047千円	70,133千円	78,605千円	76,262千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	86,890千円	143,264千円	179,000千円	163,500千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(60,000千円)	(76,651千円)	(75,770千円)	(75,770千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔鳥獣害対策事業受託費収入〕）	(105,937千円)	(124,383千円)	(161,000千円)	(161,000千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(12,363千円)	(20,835千円)	(2,992千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.1人	2.1人	2.1人	2.1人		
			18,978千円	18,222千円	18,699千円	18,865千円		
		職員給与費 a	16,466千円	16,414千円	16,187千円	16,160千円		
		賞与引当金繰入額 b	1,145千円	1,151千円	1,145千円	1,151千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,367千円	657千円	1,367千円	1,554千円			
総コスト（①+②）	従事人員	2.1人	2.1人	2.1人	2.1人			
		184,915千円	231,619千円	276,304千円	258,627千円			
	〔うち事業拡大部分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	シカ捕獲頭数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI） （活力あるふるさとひょうご実現プログラム（目標） （全県ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目標	45,000頭	46,000頭	46,000頭	46,000頭	46,000頭	46,000頭
		実績（見込）	37,676頭	37,234頭	(46,000頭)	(46,000頭)	【毎年度】	
		（単位当たりコスト）	(5千円)	(6千円)	(6千円)	(6千円)		
		〔うち事業拡大部分〕	—	—	—	—		
	シカ目撃効率 ※目標値未滿を達成目標とする	目標	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績（見込）	(本州) 1.30 (淡路) 1.10	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	【3年度】
		（単位当たりコスト）	(184,915千円)	(231,619千円)	(276,304千円)	(258,627千円)		
		〔うち事業拡大部分〕	—	—	—	—		
		達成率（見込）	76.9%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	・平成30年度のシカによる農林業被害額は約2億2千万円と、近年のピークであった平成22年度の約4億7千万円に対して半減しているが、依然として高い水準にある。 ・農林業被害等の防止を図るため、市町が許可する有害鳥獣捕獲に加え、狩猟者によるシカの積極的な捕獲を進める。							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	自然環境課自然環境保全班			
事業名	特定外来生物被害対策事業（平成18年度～）				連絡先	078-362-3274			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	8,932千円		10,441千円		15,702千円		17,452千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	8,932千円		8,515千円		13,536千円		15,286千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		1,926千円		2,166千円		2,166千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔環境保全基金〕）	(0千円)		(0千円)		(2,166千円)		(2,166千円)
		（一般財源）	(8,932千円)		(10,441千円)		(13,536千円)		(15,286千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人
			16,267千円		15,618千円		16,027千円		16,169千円
		職員給与費 a	14,114千円		14,069千円		13,874千円		13,851千円
		賞与引当金繰入額 b	981千円		986千円		981千円		986千円
退職手当引当金繰入額 c		1,172千円		563千円		1,172千円		1,332千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人	
		25,199千円		26,059千円		31,729千円		33,621千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[2,512千円]		[1,750千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	年間捕獲頭数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）） （活力あるふるさとひょうご実現プログラム（目標）） （全県ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目標	7,000頭	7,000頭	7,000頭	8,000頭	8,000頭		
		実績（見込）	5,685頭	7,176頭	(7,000頭)	(8,000頭)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	(4千円)	(4千円)	(5千円)	(4千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[1千円]	[1千円]			
	アライグマ・ヌートリアの被害面積 ※目標値未滿を達成目標とする	目標	30ha	30ha	30ha	30ha	30ha		
		実績（見込）	22ha	21ha	(30ha)	(30ha)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	(1,145千円)	(1,241千円)	(1,058千円)	(1,121千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[84千円]	[58千円]			
	達成率（見込）	136.4%	142.9%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・アライグマ、ヌートリアは近年急速に生息分布を拡大し、シカ、イノシシに次ぎ深刻な農業被害を及ぼしており、また屋根裏への侵入や糞尿など、生活環境においても被害を及ぼしている外来生物を排除する支援が必要である。</p> <p>・捕獲活動等への支援による捕獲防除が進み、農業被害額、被害面積は減少傾向にあり、平成30年度の被害額は65,777千円と、被害が増加し始めた平成18年度以降、最小の被害額となっている。</p> <p>・捕獲目標の7千頭を初めて達成するとともに、農業被害の減少効果のある5千頭以上の捕獲を毎年継続しているため、令和2年度においては、捕獲目標を8千頭に拡大して、より一層の捕獲を進める。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	有害鳥獣捕獲狩猟者育成プロジェクト（平成26年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	10,145千円		10,426千円		12,156千円		11,394千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	7,325千円		8,039千円		10,556千円		9,794千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,820千円		2,387千円		1,600千円		1,600千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(5,072千円)		(5,213千円)		(6,078千円)		(5,697千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(5,073千円)		(5,213千円)		(6,078千円)		(5,697千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			4,520千円		4,339千円		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	3,921千円		3,908千円		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	273千円		274千円		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		326千円		157千円		326千円		370千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		14,665千円		14,765千円		16,609千円		15,886千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		有害鳥獣捕獲入門講座の受講者数	目 標	30人	30人	30人	30人	30人	
		実績（見込）	24人	30人	(29人)	(30人)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	(611千円)	(492千円)	(573千円)	(530千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	80.0%	100.0%	(96.7%)	(100.0%)			
	有害鳥獣捕獲班員(銃)育成人数	目 標	48人	47人	20人	20人	累計 230人		
		実績（見込）	33人	39人	(20人)	(20人)	【2年度】		
		（単位当たりコスト）	(444千円)	(379千円)	(830千円)	(794千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）		68.8%	83.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>・将来にわたり農林業被害防止や捕獲による個体数管理を維持していくうえで、狩猟者の高齢化等に対応していくため、狩猟者の確保や技能向上対策が必要である。</p> <p>・有害鳥獣捕獲入門講座の受講者も市町の有害捕獲活動に参加するなど後継者育成も進みつつあり、目標も概ね達成しているが、引き続き、狩猟者の育成を図り捕獲実施体制の確立に取り組んでいく。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	ストップ・ザ・獣害対策（平成27年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	23,000千円		21,400千円		21,400千円		21,400千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	9,406千円		10,421千円		10,600千円		12,000千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	13,594千円		10,979千円		10,800千円		9,400千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(23,000千円)		(21,400千円)		(21,400千円)		(21,400千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			4,520千円		4,339千円		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	3,921千円		3,908千円		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	273千円		274千円		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		326千円		157千円		326千円		370千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		27,520千円		25,739千円		25,853千円		25,892千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	ストップ・ザ・獣害捕獲指導集落数	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		250集落	250集落	250集落	250集落	250集落	
		実績（見込）		130集落	115集落	(155集落)	(250集落)	【毎年度】	
		(単位当たりコスト)		(212千円)	(224千円)	(167千円)	(104千円)	/	
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-			
	達成率（見込）		52.0%	46.0%	(62.0%)	(100.0%)			
	達成率（見込）		52.0%	46.0%	(62.0%)	(100.0%)			
	農業被害の「深刻」な集落の割合 ※ 目標値未滿を達成目標とする (第2期シカ管理計画)	目 標		12.0%	12.0%	12.0%	12.0%	12.0%	
実績（見込）			4.0%	(12.0%)	(12.0%)	(12.0%)	【3年度】		
(単位当たりコスト)			(6,880千円)	(2,145千円)	(2,154千円)	(2,158千円)	/		
[うち事業拡大分]			-	-	-	-			
達成率（見込）		300.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・野生動物による農林業被害を効果的に防止するうえで、狩猟者による捕獲に加え、被害集落が集落ぐるみで捕獲等の取り組みを推進することが不可欠である。</p> <p>・森林動物研究センターでの研修を受講した捕獲指導員の現場指導により、迅速かつ地域の実情に応じた取り組みがされている。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地			所管課班	鳥獣対策課被害対策班				
事業名	シカ丸ごと1頭活用大作戦（平成27年度～）			連絡先	078-362-3463				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	3,494千円	17,918千円	47,578千円	53,498千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	15,739千円	32,000千円	38,000千円			
		補助金・交付金	3,494千円	2,179千円	15,578千円	15,498千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(1,250千円)	(864千円)	(32,000千円)	(38,000千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔H30地域創生基金、R2環境保全基金〕）	(0千円)	(865千円)	(0千円)	(600千円)			
		（一般財源）	(2,244千円)	(16,189千円)	(15,578千円)	(14,898千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,711千円	2,603千円	2,671千円	2,695千円			
		職員給与費 a	2,352千円	2,345千円	2,312千円	2,309千円			
		賞与引当金繰入額 b	164千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		195千円	94千円	195千円	222千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		6,205千円	20,521千円	50,249千円	56,193千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[3,705千円]	[600千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	シカ処理加工頭数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI） （活力あるふるさとひょうご実現プログラム（目標）） （全県ビジョン推進方策フォローアップ指標）	目標	5,000頭	7,000頭	8,000頭	9,000頭	10,000頭		
		実績（見込）	4,755頭	6,580頭	(8,000頭)	(9,000頭)	【3年度】		
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(3千円)	(6千円)	(6千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	[1千円]	[1千円]			
	達成率（見込）	95.1%	94.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	適正処理頭数	目標	1,000頭	500頭	500頭	500頭	500頭		
		実績（見込）	1,000頭	500頭	(500頭)	(500頭)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	(6千円)	(41千円)	(100千円)	(112千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	[7千円]	[1千円]			
達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲したシカの活用は、地域資源の有効活用として地域の活性化にもつながり有効な取り組みである。また、利用できない個体の適正処理は、有害鳥獣の誘引抑止や廃棄物の減量化に有効である。 ・狩猟者やシカ肉処理加工施設、飲食店等の連携した取り組みや、処理施設への搬入支援などにより、シカの適正処理、シカ肉等への需要拡大が進んでいる。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	指定管理鳥獣捕獲等事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	19,000千円		24,000千円		24,000千円		24,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	16,764千円		17,208千円		18,000千円		18,000千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,236千円		6,792千円		6,000千円		6,000千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(12,000千円)		(14,500千円)		(14,500千円)		(14,500千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(7,000千円)		(9,500千円)		(9,500千円)		(9,500千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		22,614千円		27,470千円		27,561千円		27,593千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	シカ有害捕獲頭数目標 (環境基本計画指標の内数)	目標	20,000頭	20,000頭	21,000頭	23,500頭	23,500頭		
		実績（見込）	17,834頭	16,521頭	(21,000頭)	(23,500頭)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(2千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	89.2%	82.6%	(100.0%)	(100.0%)				
	イノシシ有害捕獲頭数目標 (環境基本計画指標の内数)	目標	7,500頭	7,500頭	8,000頭	15,000頭	15,000頭		
		実績（見込）	10,438頭	13,013頭	(8,000頭)	(15,000頭)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(3千円)	(2千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	139.2%	173.5%	100.0%	100.0%					
評価	<p>・シカ、イノシシの生息域の拡大により、農林業被害や自然生態系への影響が増加している地域もあることから、迅速かつ適正な個体数管理が必要である。</p> <p>・市町による有害捕獲や狩猟による捕獲が困難な条件不利地において、捕獲方法の選定や生息環境等の調査を行うとともに、調査を基にした科学的・計画的な捕獲を強化することで、生息密度の低減効果が期待される。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地			所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	ツキノワグマ被害対策事業（平成11年度～）			連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	10,965千円	10,965千円	10,535千円	14,108千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	3,774千円	4,766千円	4,600千円	4,500千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	1,000千円	500千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	7,191千円	6,199千円	4,935千円	9,108千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(10,965千円)	(10,965千円)	(10,535千円)	(14,108千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,520千円	4,339千円	4,453千円	4,492千円		
		職員給与費 a	3,921千円	3,908千円	3,854千円	3,848千円		
		賞与引当金繰入額 b	273千円	274千円	273千円	274千円		
退職手当引当金繰入額 c		326千円	157千円	326千円	370千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		15,485千円	15,304千円	14,988千円	18,600千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[1,000千円]	[4,233千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	ツキノワグマ出没情報件数 ※ 目標値未滿を達成目標とする 《目標値》 豊作年：400件 並作年：750件 凶作年：800件	目標	400頭	750頭	400頭	750頭	400～800	
		実績（見込）	490頭	638頭	(400頭)	(750頭)	【毎年度】	
		（単位当たりコスト）	(32千円)	(24千円)	(37千円)	(25千円)	/	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	[3千円]	[6千円]		
	達成率（見込）	81.6%	117.6%	(100.0%)	(100.0%)			
	ツキノワグマによる人身被害件数 ※ 目標値に向け低減させることを達成目標とする	目標	0件	0件	0件	0件	0件	
		実績（見込）	2件	0件	(2件)	(0件)	【毎年度】	
		（単位当たりコスト）	(7,743千円)	(15,304千円)	(14,988千円)	(18,600千円)	/	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	[0千円]	[0千円]		
達成率（見込）	—	—	—	—				
評価	<p>・ ツキノワグマの生息数の回復に伴い、集落への出没や人身事故が発生しており、出没被害対策が急務である。</p> <p>・ 市町や地元との連携による集落に出没させない環境整備や、狩猟等により捕獲された個体情報を生息数調査に活用するなど、出没抑制や個体数管理を効率的・効果的に進めている。</p>							
	3年目の見直し							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課 被害対策班			
事業名	捕獲専門家チームによる有害捕獲強化事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	—		0千円		33,655千円		34,547千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		0千円
		委託料	—		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	—		0千円		0千円		0千円
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	—		0千円		33,655千円		34,547千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		(0千円)		(14,700千円)		(14,700千円)
		（県債）	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔鳥獣対策事業受託費収入〕）	—		(0千円)		(18,955千円)		(19,052千円)
		（一般財源）	—		(0千円)		(0千円)		(795千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		0.7人		0.7人		0.7人
			—		6,074千円		6,234千円		6,289千円
		職員給与費 a	—		5,471千円		5,396千円		5,387千円
		賞与引当金繰入額 b	—		384千円		382千円		384千円
退職手当引当金繰入額 c		—		219千円		456千円		518千円	
総コスト（①+②）	従事人員	—		0.7人		0.7人		0.7人	
		—		6,074千円		39,889千円		40,836千円	
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		捕獲専門家チームによる捕獲頭数	目標	—	1,500頭	1,500頭	1,500頭	1,500頭	
		実績（見込）	—	0頭	(1,500頭)	(1,500頭)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	(6,074千円)	(27千円)	(27千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	—	0.0%	(100.0%)	(100.0%)	/		
		目標	—	—	—	—		—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	—	—			
評価	<p>・シカ、イノシシの生息域の拡大により、農林業被害や自然生態系への影響が増加している地域もあることから、迅速な捕獲体制の整備が必要である。</p> <p>・県が主導で捕獲専門家チームを編成し捕獲を実施することで、狩猟者が少ないなど捕獲体制が脆弱な市町や市境等での捕獲を促進する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	狩猟期イノシシ捕獲拡大事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	6,958千円	44,520千円	40,320千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	0千円	0千円	0千円			
		委託料	—	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	—	0千円	5,120千円	5,120千円			
		貸付金	—	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	6,958千円	39,400千円	35,200千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	(0千円)	(10,890千円)	(10,260千円)			
		（県債）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔鳥獣害対策事業受託費収入〕）	—	(6,958千円)	(26,110千円)	(22,540千円)			
		（一般財源）	—	(0千円)	(7,520千円)	(7,520千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人			
			—	6,074千円	6,234千円	6,289千円			
		職員給与費 a	—	5,471千円	5,396千円	5,387千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	384千円	382千円	384千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	219千円	456千円	518千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人				
		—	13,032千円	50,754千円	46,609千円				
	[うち事業拡大部分]	—	[0千円]	[4,720千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	イノシシ狩猟期捕獲頭数 (環境基本計画指標の内数)	目標	—	12,000頭	12,000頭	10,000頭	10,000頭		
		実績（見込）	—	6,995頭	(12,000頭)	(10,000頭)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	—	(2千円)	(4千円)	(5千円)	/		
		[うち事業拡大部分]	—	—	[1千円]	—			
	達成率（見込）	—	58.3%	(100.0%)	(100.0%)				
	イノシシ農業被害額 (第5次環境基本計画指標) ※ R元年度～目標設定	目標	—	—	170,560千円	164,566千円	134,596千円		
		実績（見込）	—	—	(170,560千円)	(164,566千円)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	(0千円)	(0千円)	/		
		[うち事業拡大部分]	—	—	[0千円]	—			
達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・平成30年度のイノシシによる農業被害額は約2億2千万円と、近年のピークであった平成25年度の約2億7千万円に対して減少傾向にあるが、引き続き取組を進める必要がある。</p> <p>・農業被害等の防止を図るため、市町が許可する有害鳥獣捕獲に加え、狩猟者によるイノシシの積極的な捕獲が必要である。</p> <p>・狩猟期の捕獲報償金の支給や、ICT大型捕獲オリ、捕獲ツサ付くくりわなの貸与等の取組により、狩猟期の捕獲を支援していく。</p>								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	鳥獣対策課被害対策班			
事業名	鳥獣被害集落対策事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3463			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	35,910千円	36,070千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円			
		委託料	—	—	0千円	0千円			
		補助金・交付金	—	—	35,910千円	36,070千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	0千円	0千円			
		（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	—	—	(35,910千円)	(36,070千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	—	0.7人	0.7人			
			—	—	6,234千円	6,289千円			
		職員給与費 a	—	—	5,396千円	5,387千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	382千円	384千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	456千円	518千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	—	0.7人	0.7人				
		—	—	42,144千円	42,359千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		農業被害が「深刻」「大きい」集落の割合 ※ 目標値未滿を達成目標とする	目 標	—	—	11.0%	11.0%	11.0%	
		実績（見込）	—	—	(11.0%)	(11.0%)	【8年度】		
	（第2期シカ管理計画）	（単位当たりコスト）	—	—	(3,831千円)	(3,851千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)			
	獣害ベルト整備箇所数	目 標	—	—	100箇所	100箇所	100箇所		
		実績（見込）	—	—	(100箇所)	(100箇所)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	(421千円)	(424千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・野生動物による農林業被害を効果的に防止するうえで、狩猟者による捕獲に加え、被害集落やその周辺集落が地域ぐるみで被害対策の取り組みを促進させることが不可欠である。</p> <p>・被害防止に有効な防護柵等の整備や点検を実施する体制ができていないなど、集落での被害対策の取り組みが不十分な集落を中心に被害対策に係る総合的な指導に取り組む。</p> <p>・また、鳥獣被害対策の取り組み効果を知ってもらい、積極的な取り組みを促すため、野生動物の集落エリアへの侵入を低減させる緩衝帯整備等の取り組みを支援する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	温暖化対策課計画班			
事業名	地域創生！再エネ発掘プロジェクト(平成29年度～)				連絡先	078-362-3284			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	2,376千円		2,872千円		6,849千円		6,835千円	
	経費内訳	報酬・賃金	97千円		102千円		126千円		114千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	2,024千円		2,631千円		6,500千円		6,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	255千円		139千円		223千円		221千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(2,376千円)		(2,872千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[環境保全基金])	(0千円)		(0千円)		(6,849千円)		(6,835千円)
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト(①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		11,413千円		11,549千円		15,753千円		15,818千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	支援総件数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	10	10	10	10	10件		
		実績(見込)	5	8	(5)	(10)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(2,283千円)	(1,444千円)	(3,151千円)	(1,582千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	再生可能エネルギーの発電量(億kWh) 兵庫県地球温暖化対策推進計画(H29.3策定)に基づく目標値	目標	37	41	45	50	70億kWh		
		実績(見込)	36	39	(45)	(50)	【12年度】		
		(単位当たりコスト)	(317千円)	(296千円)	(350千円)	(316千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	97.3%	95.1%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>県内の再生可能エネルギー導入量の9割以上を占める太陽光発電は、発電量の変動があるとともに、適地減少や、買取価格の引き下げ等により、導入ペースの鈍化が予想されるなどの課題がある。このため、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む上では、太陽光発電や小水力発電などの種別毎のバランスにも配慮しながら、現時点で十分活用できていない地域資源を新たなエネルギー源として、より一層活かすことが必要である。</p> <p>よって、小水力発電や小規模バイオマス発電など全県的なモデルとなり得る地域団体等の取組を支援し、バランスのとれた再生可能エネルギーの導入に向け、本事業を実施する。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		環境先進地			所管課班		温暖化対策課推進班			
事業名		住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資事業(平成23年度～)			連絡先		078-362-3284			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		953,360千円		807,420千円		3,536,296千円		3,382,425千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	953,360千円		807,420千円		3,536,296千円		3,382,425千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[貸付金償還金])	(953,360千円)		(807,420千円)		(3,536,296千円)		(3,382,425千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②(a+b+c)		従事人員	1.7人	従事人員	1.7人	従事人員	1.7人	従事人員	1.7人
			15,364千円		14,751千円		15,138千円		15,272千円	
	職員給与費	a	13,330千円		13,287千円		13,104千円		13,082千円	
	賞与引当金繰入額	b	927千円		932千円		927千円		932千円	
退職手当引当金繰入額	c	1,107千円		532千円		1,107千円		1,258千円		
総コスト(①+②)		従事人員	1.7人	従事人員	1.7人	従事人員	1.7人	従事人員	1.7人	
		968,724千円		822,171千円		3,551,434千円		3,397,697千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
	スマートライフ設備導入支援件数(住宅用創エネ・省エネ融資、家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備補助の件数合計)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)、活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目標	500	500	500	500	500件			
		実績(見込)	1,053	1,878	(975)	(500)	【毎年度】			
		(単位当たりコスト)	(920千円)	(438千円)	(3,642千円)	(6,795千円)				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
	達成率(見込)	210.6%	375.6%	(195.0%)	(100.0%)					
	家庭部門の温室効果ガス排出量削減率(%) (2013年度比)	目標	0.7	0.7	0.7	0.7	累計43%			
		実績(見込)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	【12年度】			
(単位当たりコスト)		-	-	-	-					
[うち事業拡大分]		-	-	-	-					
達成率(見込)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)						
評価	温室効果ガスの削減に向け、家庭部門の対策が重要であることから、創エネ・省エネ・蓄エネ設備の導入に係る設費用の負担を大幅に軽減し、導入を促進する低利融資制度が必要である。									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地		所管課班	環境政策課活動支援班 水大気課大気班 温暖化対策課推進班・計画班			
事業名	環境創造型社会推進事業(平成30年度～)		連絡先	078-362-9895 078-362-3285 078-362-3284			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①	—	36,926千円	110,002千円	111,586千円		
	経費内訳	報酬・賃金	—	0千円	0千円	0千円	
		委託料	—	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	—	36,926千円	110,002千円	111,586千円	
		貸付金	—	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	—	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(県債)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(その他[環境創造協会拠出金・環境保全基金])	—	(36,926千円)	(110,002千円)	(111,586千円)	
		(一般財源)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費②(a+b+c)	従事人員	—	従事人員 1.6人	従事人員 1.9人	従事人員 1.4人	
			—	13,884千円	16,918千円	12,576千円	
		職員給与費 a	—	12,506千円	14,645千円	10,773千円	
		賞与引当金繰入額 b	—	877千円	1,036千円	767千円	
退職手当引当金繰入額 c		—	501千円	1,237千円	1,036千円		
総コスト(①+②)	従事人員	—	従事人員 1.6人	従事人員 1.9人	従事人員 1.4人		
		—	50,810千円	126,920千円	124,162千円		
	[うち事業拡大分]	—	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
		年度ごとの水素ステーション立地数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	—	1	1	1
		実績(見込)	—	0	0	(1)	【2年度】
		(単位当たりコスト)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
		達成率(見込)	—	0.0%	(0.0%)	(100.0%)	
	省エネ設備導入等支援件数(地域創生戦略事業進捗指標)	目標	—	10	10	10	10
		実績(見込)	—	13	(3)	(10)	
		(単位当たりコスト)	—	(2,088千円)	(13,334千円)	(4,009千円)	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
	達成率(見込)	—	130.0%	(30.0%)	(100.0%)		
評価	<p>大気環境の改善や地球温暖化対策のため、兵庫県燃料電池自動車普及促進ビジョンを策定し、燃料電池自動車(FCV)の普及を促進しているが、水素ステーションの立地は県内2箇所に留まっていることにより、普及台数は低調であることから、平成30年度に水素ステーション整備補助事業を創設し、FCVの普及拡大を推進している。</p> <p>また、兵庫県地球温暖化対策推進計画(H29.3策定)に基づき、2030年に向けて温室効果ガスを各部門で大幅に削減する必要があり、産業・業務部門で、省エネ設備改修や省エネ化工事に対する費用の補助、家庭部門で、家庭用蓄電池等のエネルギーを最適に利用する暮らし方である「スマートライフ」設備設置補助を実施する。</p> <p>さらに、兵庫県立大学と連携し、再生可能エネルギーの導入等「持続可能な地域づくり」につながる事業を「自ら立案・事業化」し、地域へ効果を波及させる人材を育成し、環境創造型社会を推進する。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系		環境先進地			所管課班		温暖化対策課 推進班						
事業名		再生可能エネルギーによる地産地消モデルの構築事業			連絡先		078-362-3284						
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額				
	事業費①		-		-		-		10,694千円				
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		180千円				
		委託料	-		-		-		0千円				
		補助金・交付金	-		-		-		10,000千円				
		貸付金	-		-		-		0千円				
		その他需用費等	-		-		-		514千円				
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-		-		-		(10,000千円)				
		(県債)	-		-		-		(0千円)				
		(その他[])	-		-		-		(0千円)				
		(一般財源)	-		-		-		(694千円)				
	人件費② (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	1.0人			
			-		-		-		8,983千円				
	職員給与費 a		-		-		-		7,695千円				
	賞与引当金繰入額 b		-		-		-		548千円				
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		740千円					
総コスト (①+②)		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	1.0人				
		-		-		-		19,677千円					
[うち事業拡大分]		-		-		-		[0千円]					
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	地域団体等が再エネ導入に向けて取り組みをすすめた件数 (地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業支援総件数)		目 標		-		-		-		10	10件	
			実績(見込)		-		-		-		(10)	【毎年度】	
			(単位当たりコスト)		-		-		-		(1,968千円)		
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		
	達成率(見込)		-		-		-		(100.0%)				
	再生可能エネルギーの発電量(億kWh)		目 標		-		-		-		50	70億kWh	
			実績(見込)		-		-		-		50	【12年度】	
			(単位当たりコスト)		-		-		-		(0千円)		
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		
達成率(見込)		-		-		-		(100.0%)					
兵庫県地球温暖化対策推進計画(H29.3策定)に基づく目標値		目 標		-		-		-		50	70億kWh		
		実績(見込)		-		-		-		50	【12年度】		
		(単位当たりコスト)		-		-		-		(0千円)			
		[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
達成率(見込)		-		-		-		(100.0%)					
評価	<p>大規模太陽光発電に偏らないバランスのとれた再生可能エネルギーの普及をめざす中で、低炭素社会、資源循環、自然共生の統合的政策アプローチの理念の下、地域に賦存する再エネ資源を活用し、地域内で持続可能な形でエネルギーや資源が循環する「地域循環共生圏」を創出する。</p> <p>まずは、営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）が普及し、里山保全活動を中心に地域活動が盛んな阪神北地域をモデルケースとして、（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）関西研究センターと連携し、地域循環共生圏モデルを構築する。</p>												
3年目の見直し	-												

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地			所管課班	林務課木材利用班			
事業名	兵庫県産木材利用木造住宅特別融資事業（昭和60年度～）			連絡先	078-362-9224			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	21,316,110千円	22,120,700千円	26,723,600千円	26,760,020千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	21,316,110千円	22,120,700千円	26,723,600千円	26,760,020千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔貸付金償還金〕）	(21,316,110千円)	(22,120,700千円)	(26,723,600千円)	(26,760,020千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人		
			11,748千円	11,280千円	11,575千円	11,678千円		
		職員給与費 a	10,193千円	10,161千円	10,020千円	10,004千円		
		賞与引当金繰入額 b	709千円	712千円	709千円	712千円		
退職手当引当金繰入額 c		846千円	407千円	846千円	962千円			
総コスト（①+②）	従事人員	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人			
		21,327,858千円	22,131,980千円	26,735,175千円	26,771,698千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	県産木材利用木造住宅建設戸数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
		実績（見込）	1,108	1,096	(1,100)	(1,100)	【7年度】	
		（単位当たりコスト）	(19,249千円)	(20,193千円)	(24,305千円)	(24,338千円)	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率（見込）	100.7%	99.6%	(100.0%)	(100.0%)		
	-	目標	-	-	-	-	-	
		実績（見込）	-	-	-	-	-	
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率（見込）		-	-	-	-			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産木材を利用した住宅への低利融資を行うことにより、県産木材を利用した木造住宅の建設が進み、住宅分野での県産木材の利用促進に寄与している。 ・ 民間金融機関との協調融資という形態で事業を実施し、融資の審査・実行・償還は貸付を行う金融機関が担うことで、効率的に貸付を行うことができています。 ・ 県産木材利用木造住宅建設戸数の達成率は30年度実績：99.6%となっているが、継続したPR活動により本制度の利用を確保している。 							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地			所管課班	林務課林政調整班				
事業名	森林環境譲与税事業（令和元年度～）			連絡先	078-362-3161				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	125,000千円	181,955千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	200千円	0千円			
		委託料	—	—	84,302千円	102,991千円			
		補助金・交付金	—	—	32,000千円	59,000千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	8,498千円	19,964千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他[森林環境事業基金]）	—	—	(125,000千円)	(181,955千円)			
		（一般財源）	—	—	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.4人	従事人員	1.2人
			—	—	12,465千円	10,780千円			
		職員給与費 a	—	—	10,791千円	9,234千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	763千円	658千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	911千円	888千円				
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員	1.4人	従事人員	1.2人	
		—	—	137,465千円	181,955千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[31,684千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	森林環境譲与税を活用した非経済林での間伐面積（新ひょうごの森づくり(計画)）	目標	—	—	1,200	1,200	1,200		
		実績（見込）	—	—	(1,200)	(1,200)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	(115千円)	(152千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)				
	県産木材利用木造住宅建設戸数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	—	—	1,100	1,100	1,100		
		実績（見込）	—	—	(1,100)	(1,100)	【7年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	(125千円)	(165千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森づくりサポートセンターを設置し、市町が実施する森林整備や木材利用を支援することで、条件不利地（非経済林）での間伐の推進や公共施設での県産木材利用促進につなげることができる。 ・ 県産木材を利用した木造住宅のPR活動や設計に対する支援に加えて、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資の制度内容やメリットの周知を強化し、多くの県民が利用可能な施設の木質化を支援することで、県産木材利用に向けた意識醸成が図られ、さらなる県産木材の需要拡大を図ることができる。 ・ 林業災害防止研修により急傾斜地での伐倒を繰り返し練習することで、今後急増する条件不利地での立木伐倒作業等を安全に行え、林業労働災害防止につなげることが出来る。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	環境先進地				所管課班	林務課造林計画班			
事業名	リモートセンシング技術者養成研修事業（令和2年度～）				連絡先	078-362-3461			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	6,045千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0千円			
		委託料	—	—	—	5,195千円			
		補助金・交付金	—	—	—	0千円			
		貸付金	—	—	—	0千円			
		その他需用費等	—	—	—	850千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	—	(0千円)			
		（県債）	—	—	—	(0千円)			
		（その他[森林環境事業基金]）	—	—	—	(6,045千円)			
		（一般財源）	—	—	—	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.2人
		0千円		0千円		0千円		1,797千円	
		職員給与費 a	—	—	—	1,539千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	110千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	148千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.0人	従事人員	0.2人	
	—		—		—		7,842千円		
	[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	森林環境譲与税を活用した非経済林での間伐面積（新ひょうごの森づくり（計画））	目標	—	—	—	1,200	1,200		
		実績（見込）	—	—	—	(1,200)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(7千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)				
	—	目標	—	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—			
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<p>・近年普及が進むリモートセンシング技術を活用することで、林業従事者等の労務確保が困難な中、現地測量の省力化を図り、条件不利地（非経済林）での間伐の推進につなげることができる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		環境先進地			所管課班		林務課林政調整班			
事業名		緑の青年就業準備給付金事業（平成29年度～）			連絡先		078-362-3161			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		9,021千円		11,957千円		41,337千円		42,637千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		2,241千円		0千円	
		補助金・交付金	8,250千円		11,759千円		39,000千円		40,300千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	771千円		198千円		96千円		2,337千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(9,021千円)		(11,957千円)		(41,337千円)		(42,637千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			4,520千円		4,339千円		4,453千円		4,492千円	
	職員給与費 a		3,921千円		3,908千円		3,854千円		3,848千円	
	賞与引当金繰入額 b		273千円		274千円		273千円		274千円	
退職手当引当金繰入額 c		326千円		157千円		326千円		370千円		
総コスト（①+②）		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	
		13,541千円		16,296千円		45,790千円		47,129千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	新規就業者数/年間(人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))		目 標		30	30	30	30	30	
			実績(見込)		59	33	(30)	(30)	【7年度】	
			(単位当たりコスト)		(230千円)	(494千円)	(1,526千円)	(1,571千円)		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率(見込)		196.7%	110.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	-		目 標		-	-	-	-	-	
			実績(見込)		-	-	-	-	-	
			(単位当たりコスト)		-	-	-	-		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		-	-	-	-					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者を継続的に確保・育成していくため、就業に向けて技術・知識の習得等を行う者を支援する必要がある。就学の支援は、青年の就業意欲の喚起につながるため有効である。 ・森林大学校等関係機関との連携により給付対象者の選定や、給付期間中及び就業後のフォローを行い、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努める。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	地域住民と共生するひょうごの都市農業振興事業（令和2年度～）				連絡先	078-362-3444			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	4,404千円		1,486千円		4,217千円		4,363千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	3,494千円		1,193千円		3,600千円		3,600千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	910千円		293千円		617千円		763千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,202千円)		(743千円)		(2,108千円)		(2,181千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)		(743千円)		(2,109千円)		(0千円)
		（一般財源）	(2,202千円)		(0千円)		(0千円)		(2,182千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		8,018千円		4,956千円		7,778千円		7,956千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[1千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	生産緑地面積(ha) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標	526	526	526	526	526		
		実績(見込)	506	(505)	(505)	(526)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(16千円)	(10千円)	(15千円)	(15千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	※都市農地の保全を図るため、生産緑地面積の維持を目標	達成率(見込)	96.2%	96.0%	(96.0%)	(100.0%)			
	都市農業の多様な機能の発揮を図る取組み件数(件)(事業実施計画数)	目標	5	5	6	6	6		
		実績(見込)	6	2	(4)	(6)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	120.0%	40.0%	(66.7%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農地の活用モデルの創出及び都市農業に対する理解促進に取り組むことにより、有効かつ効果的に兵庫県都市農業振興基本計画の実現を図っている。 ・引き続き都市農地を活用したモデル事例の創出や都市農業の理解促進を図ることにより、目標達成に努める。 ・生産緑地を有する8市において、地域計画の策定等を重点的に進め、生産緑地面積維持が図られた。令和2年度以降は、市街化区域内農地を有する26市町にも拡充して地域計画策定等に取り組むことにより、生産緑地制度創設と地区指定を促し、目標達成に努める。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	地域まるごと農地活用体制の構築（令和2年度～）				連絡先	078-362-3407			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	5,900千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0千円			
		委託料	—	—	—	0千円			
		補助金・交付金	—	—	—	5,900千円			
		貸付金	—	—	—	0千円			
		その他需用費等	—	—	—	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	—	(5,900千円)			
		（県債）	—	—	—	(0千円)			
		（その他〔農業構造改革支援基金〕）	—	—	—	(0千円)			
		（一般財源）	—	—	—	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人
		0千円		0千円		0千円		8,983千円	
		職員給与費 a	—	—	—	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	
	—		—		—		14,883千円		
	[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		将来計画策定数（地区数）	目標	—	—	—	100	100	
	達成率（見込）	実績（見込）	—	—	—	(100)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	(149千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)			
	達成率（見込）	目標	—	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—			
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<p>・実行性のある農地利用の将来計画作成における地域の課題解決のための専門家派遣経費を支援することにより、将来計画作成を加速化させ、活用すべき農地を地域全体で保全・活用する姿の実現を目指す。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	地域直売所整備促進事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	9,676千円	6,056千円	21,280千円	19,786千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	9,426千円	5,795千円	21,000千円	19,500千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	250千円	261千円	280千円	286千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(4,838千円)	(3,028千円)	(10,640千円)	(9,893千円)			
		（県債）	(4,200千円)	(2,600千円)	(9,400千円)	(8,700千円)			
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(130千円)	(140千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(638千円)	(298千円)	(1,100千円)	(1,193千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
			3,614千円	3,470千円	3,561千円	3,593千円			
		職員給与費 a	3,136千円	3,126千円	3,083千円	3,078千円			
		賞与引当金繰入額 b	218千円	219千円	218千円	219千円			
退職手当引当金繰入額 c		260千円	125千円	260千円	296千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人				
		13,290千円	9,526千円	24,841千円	23,379千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	農産物直売所の利用者数(千人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標	24,800	25,700	26,600	27,400	31,800		
		実績(見込)	26,012	27,651	(27,651)	(27,400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(0千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	104.9%	107.6%	(104.0%)	(100.0%)				
	直売所向け生産活動支援件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	9	9	9	9	9		
		実績(見込)	11	6	(7)	(9)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,208千円)	(1,588千円)	(3,549千円)	(2,598千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	122.2%	66.7%	(77.8%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物直売所の魅力向上及び情報発信を行い、県産県消の一層の推進を図る上で有効である。 ・ 受益者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。 ・ 直売所の魅力向上や周知に努めた結果、農産物直売所の利用者数・参加農家数は増加しており、目標達成に向け効果的に事業を推進する。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		農業経営課担い手対策班			
事業名		地域の担い手定着応援事業(令和元年度～) (就農スタートアップ支援事業(平成24～30年度))			連絡先		078-362-3406			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		3,680千円		1,156千円		7,640千円		7,642千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	3,000千円		950千円		6,750千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		7,642千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	680千円		206千円		890千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,840千円)		(578千円)		(3,820千円)		(3,821千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	(1,840千円)		(578千円)		(3,820千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(3,821千円)	
	人件費②(a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円	
	職員給与費 a		7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円	
	賞与引当金繰入額 b		545千円		548千円		545千円		548千円	
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円		
総コスト(①+②)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		12,717千円		9,833千円		16,544千円		16,625千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[3,300千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	支援対象新規就農者数/年間		目標		26	26	40	40	40	
			実績(見込)		12	4	(14)	(40)	【毎年度】	
			(単位当たりコスト)		(1,060千円)	(2,458千円)	(1,182千円)	(416千円)		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率(見込)		46.2%	15.4%	(35.0%)	(100.0%)				
	新規就農者数/年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標		400	400	400	400	400	
			実績(見込)		279	256	(400)	(400)	【7年度】	
			(単位当たりコスト)		(46千円)	(38千円)	(41千円)	(42千円)		
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農家子弟に比べ、地域との繋がりが薄く、生活・営農両面における継続的な支援を得ることが困難な非農家出身の新規就農者が、就農初期に抱える諸問題を解決できる環境を整える必要がある。 ・地域の指導的立場にある農業者等に委託し、またその指導的農家が的確に後見人活動できるよう、普及センター等関係機関の連携によりフォローを行い、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努める。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課担い手対策班			
事業名	農業次世代人材投資資金の活用促進事業（平成24年度～）				連絡先	078-362-9194			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	312,669千円		302,772千円		499,502千円		465,002千円	
	経費内訳	報酬・賃金	1,398千円		1,620千円		1,620千円		1,334千円
		委託料	513千円		513千円		513千円		523千円
		補助金・交付金	309,176千円		298,935千円		495,033千円		460,533千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,582千円		1,704千円		2,336千円		2,612千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(312,669千円)		(302,772千円)		(499,502千円)		(465,002千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.2人		1.2人		1.2人		1.2人
			10,844千円		10,413千円		10,685千円		10,780千円
		職員給与費 a	9,409千円		9,379千円		9,250千円		9,234千円
		賞与引当金繰入額 b	654千円		658千円		654千円		658千円
退職手当引当金繰入額 c		781千円		376千円		781千円		888千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.2人		1.2人		1.2人		1.2人	
		323,512千円		313,185千円		510,187千円		475,782千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		新規就農者数／年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	400	400	400	400	400	
		実績(見込)	279	256	(400)	(400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,160千円)	(1,223千円)	(1,275千円)	(1,189千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		目 標	-	-	-	-		-	
		実績(見込)	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・青年農業者の確保と定着のため、就農前後の所得を確保する必要がある。 ・就農前後の所得の確保支援は、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進につながるため有効である。 ・市町、農業改良普及センター、楽農生活センター、農業大学校等関係機関との連携により、交付対象者の選定や交付期間中のフォローを行い、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努める。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	農業経営課担い手対策班、 集落農業活性化班				
事業名	新規就農者の確保（平成28年度～）			連絡先	078-362-3406・4035				
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	359,617千円	182,230千円	245,442千円	263,793千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	357,875千円	180,494千円	242,756千円	261,142千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	1,742千円	1,736千円	2,686千円	2,651千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(134,531千円)	(91,115千円)	(121,703千円)	(131,896千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(91,115千円)	(121,704千円)	(131,897千円)			
		（一般財源）	(225,086千円)	(0千円)	(2,035千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人
			26,208千円	25,163千円	25,822千円	26,051千円			
	職員給与費 a		22,739千円	22,666千円	22,353千円	22,316千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,581千円	1,589千円	1,581千円	1,589千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,888千円	908千円	1,888千円	2,146千円				
総コスト（①+②）	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	従事人員	2.9人	
		385,825千円	207,393千円	271,264千円	289,844千円				
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[2,035千円]	[19,700千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		新規就農者数/年間(人) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	400	400	400	400	400	
		実績(見込)	279	256	(400)	(400)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,383千円)	(810千円)	(678千円)	(725千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
		達成率(見込)	69.8%	64.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		新規参入企業数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	20	20	20		20	
		実績(見込)	14	19	(20)	(20)	【毎年度】		
		(単位当たりコスト)	(27,559千円)	(10,915千円)	(13,563千円)	(14,492千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
	達成率(見込)	70.0%	95.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化しており、新規就農者の確保・育成及び意欲ある企業等の農業参入を図ること並びに初期投資への支援による経営発展を進めることが必要である。</p> <p>本事業により、</p> <p>①県外からの就農希望者の確保を図るとともに、就農希望者向けのインターンシップの実施、雇用就農者の独立を支援すること</p> <p>②企業が農業参入する場合に必要な農業生産から加工、販売における支援を実施すること</p> <p>③新規就農者の円滑な就農・地域への定着、農業法人の経営発展、雇用創出のため、小規模でも安定的な収入が得られる施設園芸の導入を促進すること</p> <p>は、農業人材の育成・確保を図る上で有効である。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班		
事業名	集落営農組織育成総合対策事業(平成22年度～)				連絡先	078-362-3409		
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		46,904千円	18,293千円	18,593千円	19,180千円		
	経費内訳	報酬・賃金	11,880千円	11,715千円	11,880千円	11,021千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	30,367千円	3,600千円	3,231千円	3,231千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	4,657千円	2,978千円	3,482千円	4,928千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(13,667千円)	(1,045千円)	(1,080千円)	(1,080千円)		
		(県債)	(12,300千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金繰入金])	(0千円)	(1,045千円)	(1,080千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(20,937千円)	(16,203千円)	(16,433千円)	(18,100千円)		
	人件費②(a+b+c)		従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人		
			18,074千円	17,354千円	17,808千円	17,966千円		
	職員給与費	a	15,682千円	15,632千円	15,416千円	15,390千円		
	賞与引当金繰入額	b	1,090千円	1,096千円	1,090千円	1,096千円		
退職手当引当金繰入額	c	1,302千円	626千円	1,302千円	1,480千円			
総コスト(①+②)		従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人			
		64,978千円	35,647千円	36,401千円	37,146千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	集落営農組織数(集落数) (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	40	40	40	40	累計1,500 【7年度】	
		実績(見込)	34	15	(40)	(40)		
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(1,911千円)	(2,376千円)	(910千円)	(929千円)	/	
		達成率(見込)	85.0%	37.5%	(100.0%)	(100.0%)		
	-	目 標	-	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	-	-	-	-	/	
		達成率(見込)	-	-	-	-		
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 集落営農育成員による集落営農の組織化に向けた集落調整等の支援及び集落営農の組織化、広域連携又は後継者育成を目指す集落が実施する研修会や先進地視察等を支援することができる。 集落営農組織化集落数の実績は目標を若干下回ってはいるが、着実にその数を増やしている。 						
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班				
事業名	法人化促進総合対策事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-3409				
事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①		-	55,377千円	101,167千円	101,167千円				
	経費内訳	報酬・賃金	-	0千円	0千円	0千円				
		委託料	-	0千円	0千円	0千円				
		補助金・交付金	-	55,151千円	101,167千円	101,167千円				
		貸付金	-	0千円	0千円	0千円				
		その他需用費等	-	226千円	0千円	0千円				
	（財源内訳）	(国庫支出金)	-	(27,688千円)	(50,583千円)	(50,583千円)				
		(県債)	-	(24,100千円)	(38,700千円)	(38,700千円)				
		(その他[地域創生基金])	-	(910千円)	(7,500千円)	(0千円)				
		(一般財源)	-	(2,679千円)	(4,384千円)	(11,884千円)				
	人件費② (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			-	8,677千円	8,904千円	8,983千円				
	職員給与費	a	-	7,816千円	7,708千円	7,695千円				
	賞与引当金繰入額	b	-	548千円	545千円	548千円				
退職手当引当金繰入額	c	-	313千円	651千円	740千円					
総コスト (①+②)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		-	64,054千円	110,071千円	110,150千円					
[うち事業拡大分]		-	[0千円]	[0千円]	[0千円]					
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	法人経営体数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標	-	60	60	60	累計900【7年度】		
			実績(見込)	-	45	(60)	(60)			
			(単位当たりコスト)	-	(1,423千円)	(1,835千円)	(1,836千円)	/		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
			達成率(見込)	-	75.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	-		目標	-	-	-	-	-		
			実績(見込)	-	-	-	-			
			(単位当たりコスト)	-	-	-	-	/		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)			-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の法人化や人材の雇用、規模拡大などの経営の高度化・多角化を行おうとする農業の担い手を支援することができる。 ・着実に法人化数は増加している。 ・令和元年度からは、他産業並みの収益の確保を目指す集落営農法人の設立を目指す経営体に特化した支援も実施することとしており、集落営農の組織化・法人化の一層の促進を図ることができる。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	中山間地域等直接支払交付金（平成21年度～）			連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	763,981千円	763,378千円	770,276千円	777,951千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	762,936千円	761,626千円	767,521千円	775,019千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	1,045千円	1,752千円	2,755千円	2,932千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(503,600千円)	(502,768千円)	(508,472千円)	(524,419千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(260,381千円)	(260,610千円)	(261,804千円)	(253,532千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,520千円	4,339千円	4,453千円	4,492千円		
		職員給与費 a	3,921千円	3,908千円	3,854千円	3,848千円		
		賞与引当金繰入額 b	273千円	274千円	273千円	274千円		
退職手当引当金繰入額 c		326千円	157千円	326千円	370千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		768,501千円	767,717千円	774,729千円	782,443千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	中山間地域等直接支払交付金取組面積(ha)(ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	目標	5,140	5,160	5,180	5,200	5,300	
		実績(見込)	5,294	5,298	(5,317)	(5,200)	【7年度】	
		(単位当たりコスト)	(145千円)	(145千円)	(146千円)	(150千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率(見込)	103.0%	102.7%	(102.6%)	(100.0%)		
	-	目標	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率(見込)		-	-	-	-			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農地が有する水源かん養や洪水防止等の多面的機能発揮のため、当制度により農業生産活動を継続し、農地の保全、地域の活性化に寄与している。 ・単位コストは横ばいで推移しており、今後も効果的な事業実施に努めていく。 							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	人・農地プラン・農地集積促進事業（平成24年度～）				連絡先	078-362-3407			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①		49,441 千円	17,531 千円	318,524 千円	318,524 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		補助金・交付金	49,180 千円	17,260 千円	318,150 千円	318,150 千円			
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		その他需用費等	261 千円	271 千円	374 千円	374 千円			
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(48,462千円)	(17,395千円)	(317,252千円)	(316,937千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他〔農業構造改革支援基金〕)	(847千円)	(0千円)	(1,085千円)	(1,400千円)			
		(一般財源)	(132千円)	(136千円)	(187千円)	(187千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員		3.0人	3.0人	3.0人	3.0人		
				27,111 千円	26,031 千円	26,712 千円	26,949 千円		
		職員給与費	a	23,523 千円	23,448 千円	23,124 千円	23,085 千円		
		賞与引当金繰入額	b	1,635 千円	1,644 千円	1,635 千円	1,644 千円		
退職手当引当金繰入額		c	1,953 千円	939 千円	1,953 千円	2,220 千円			
総コスト (①+②)		従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人			
		76,552 千円		43,562 千円	345,236 千円	345,473 千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	集落営農組織数(集落数)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	40	40	40	40	累計1,500	
			実績(見込)	34	15	(40)	(40)		
			(単位当たりコスト)	(2,252 千円)	(2,904 千円)	(8,631 千円)	(8,637 千円)	/	
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000	
			実績(見込)	449	482	(580)	(2,500)		
			(単位当たりコスト)	(170 千円)	(90 千円)	(595 千円)	(138 千円)	/	
[うち事業拡大分]			-	-	-	-			
		達成率(見込)	85.0%	37.5%	(100.0%)	(100.0%)			
		達成率(見込)	18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・集落レベルでの話し合いに基づき地域で中心となる担い手及びそれ以外の農業者の役割を明確化し、各地域農業のあり方を記載した人・農地プランを作成、見直しすること及び農地中間管理機構の活用によりプランの内容に沿った農地の集積・集約化をスムーズに行うことが、今後の地域農業の維持発展に重要。 ・関係機関との連携により、人・農地プランの作成支援や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。 ・今後は、農地の権利設定が可能となる集落営農組織の法人化促進や、機構法の施行5年後見直しに伴うプランの実質化、新たな協力金制度の有効活用により、担い手への農地の集積・集約化を図っていく。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	農地中間管理機構集積等支援事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-4035			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①		109,213千円	108,152千円	166,253千円	163,227千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	101,738千円	101,924千円	156,893千円	154,002千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	7,475千円	6,228千円	9,360千円	9,225千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(156,342千円)	(156,269千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他〔農業構造改革支援基金〕)	(109,188千円)	(108,091千円)	(6,471千円)	(3,518千円)			
		(一般財源)	(25千円)	(61千円)	(3,440千円)	(3,440千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員		3.0人	3.0人	3.0人	3.0人		
				27,111千円	26,031千円	26,712千円	26,949千円		
		職員給与費	a	23,523千円	23,448千円	23,124千円	23,085千円		
		賞与引当金繰入額	b	1,635千円	1,644千円	1,635千円	1,644千円		
退職手当引当金繰入額		c	1,953千円	939千円	1,953千円	2,220千円			
総コスト (①+②)		従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人			
		136,324千円		134,183千円	192,965千円	190,176千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標	2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000【5年度】	
			実績(見込)	449	482	(580)	(2,500)		
			(単位当たりコスト)	(304千円)	(278千円)	(333千円)	(76千円)		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
			達成率(見込)	18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)		
	-		目標	-	-	-	-	-	
			実績(見込)	-	-	-	-		
			(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率(見込)			-	-	-	-			
評価	<p>・ 担い手への農地集積は着実に進展しているが、本県農業の持続的発展のためには、担い手への農地集積と集約化を更に加速させる必要があることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積を一層推進することが必要である。</p> <p>・ 関係機関との連携により、人・農地プランの作成支援や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。</p> <p>・ 機構法の施行5年後(H31年度)見直しによる施策・推進体制の強化とともに、条件不利農地集積奨励事業や地域農地管理事業の活用促進等との相乗効果により、目標達成に努める。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		農業経営課集落農業活性化班			
事業名		条件不利農地集積奨励事業（平成28年度～）			連絡先		078-362-4035			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		5,969千円		5,046千円		28,505千円		28,500千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	5,666千円		4,948千円		28,000千円		28,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	303千円		98千円		505千円		500千円	
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(2,984千円)		(2,523千円)		(14,252千円)		(14,250千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	(0千円)		(2,523千円)		(14,253千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(2,985千円)		(0千円)		(0千円)		(14,250千円)	
	人件費② (a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円	
	職員給与費 a		7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円	
	賞与引当金繰入額 b		545千円		548千円		545千円		548千円	
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円		
総コスト (①+②)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		15,006千円		13,723千円		37,409千円		37,483千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標		2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000	
			実績(見込)		449	482	(580)	(2,500)	【5年度】	
			(単位当たりコスト)		(33千円)	(28千円)	(64千円)	(15千円)	/	
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率(見込)		18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)	/			
	事業実施面積(ha)		目標		127	127		127	127	
			実績(見込)		25	23	(127)	(127)	【毎年度】	
	(単位当たりコスト)		(600千円)	(597千円)	(295千円)	(295千円)	/			
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-				
達成率(見込)		19.7%	18.1%	(100.0%)	(100.0%)	/				
評価	<p>・本県農業の持続的発展のためには、農地の条件が不利な地域においても農地の集積・集約化を進めることが必要であることから、本事業により農地の集積・集約化の支援と併せて条件不利農地対策を進め、作業性の悪い農地を借受ける担い手を支援することが有効である。</p> <p>・関係機関との連携により、人・農地プランの実質化や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を一体的に推進しており、効率的かつ効果的に事業効果が発揮できるように努めている。</p> <p>・規模拡大を図る担い手等に対して本事業を一層PRし、積極的な活用を働きかけるとともに、地域農地管理事業の活用促進等との相乗効果により、優良農地と併せ、条件の悪い農地や分散農地の有効活用を進める。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農業経営課集落農業活性化班			
事業名	地域農地管理事業（平成29年度～）				連絡先	078-362-4035			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①		19,622 千円	18,211 千円	81,804 千円	81,944 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		補助金・交付金	18,985 千円	17,767 千円	80,300 千円	81,049 千円			
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
		その他需用費等	637 千円	444 千円	1,504 千円	895 千円			
	（財源内訳）	(国庫支出金)	(9,811千円)	(9,106千円)	(40,902千円)	(40,972千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(9,106千円)	(40,902千円)	(0千円)			
		(一般財源)	(9,811千円)	(0千円)	(0千円)	(40,972千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員		1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
				9,037 千円	8,677 千円	8,904 千円	8,983 千円		
		職員給与費	a	7,841 千円	7,816 千円	7,708 千円	7,695 千円		
		賞与引当金繰入額	b	545 千円	548 千円	545 千円	548 千円		
退職手当引当金繰入額		c	651 千円	313 千円	651 千円	740 千円			
総コスト (①+②)		従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		28,659 千円		26,888 千円	90,708 千円	90,927 千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]	[5,000千円]	[9,249千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	農地中間管理事業の年間借受・貸付面積(ha)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標			2,500	2,500	2,500	2,500	累計25,000
		実績(見込)			449	482	(580)	(2,500)	
		(単位当たりコスト)			(64 千円)	(56 千円)	(156 千円)	(36 千円)	/
		[うち事業拡大分]			[0千円]	[0千円]	[9千円]	[4千円]	
	達成率(見込)			18.0%	19.3%	(23.2%)	(100.0%)		
	モデル地域数	目 標			10	10	10	10	10
		実績(見込)			10	6	(10)	(10)	
		(単位当たりコスト)			(2,866 千円)	(4,481 千円)	(9,071 千円)	(9,093 千円)	/
		[うち事業拡大分]			[0千円]	[0千円]	[1千円]	[1千円]	
達成率(見込)			100.0%	60.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・農業就業人口の減少や高齢化により農地所有者が活用しない不耕作農地が増加する中、不耕作農地は、農業生産性の低下に加えて病害虫・鳥獣害の発生の温床となり地域全体に悪影響を及ぼすことから、本事業により不耕作農地の解消と発生を未然防止することが必要である。</p> <p>・地域での話し合いに時間を要し事業活用を翌年度以降に見送るケースや、把握した不耕作農地が分散しているため担い手による借受けに至らなかったケース等あり、実績見込が目標を下回った。</p> <p>・R2年度からは、地域での人・農地プランに係る話し合いの活性化と併せた事業推進を図るとともに、担い手による分散農地の借受けを促進する「インセンティブ」施策等を創設するなど、事業を拡充している。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご		所管課班	総合農政課農林水産政策班					
事業名	「農」イノベーションひょうご推進事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-9216					
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額		2年度当初予算額			
	事業費①	27,486千円	122,699千円	132,045千円		133,136千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円		0千円		
		委託料	1,506千円	1,586千円	4,038千円		4,117千円		
		補助金・交付金	25,786千円	120,729千円	127,175千円		128,187千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円		0千円		
		その他需用費等	194千円	384千円	832千円		832千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(22,180千円)	(118,181千円)	(123,023千円)		(124,114千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)		(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(4,426千円)	(8,872千円)		(0千円)		
		（一般財源）	(5,306千円)	(92千円)	(150千円)		(9,022千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人
			27,111千円	26,031千円	26,712千円		26,949千円		
		職員給与費 a	23,523千円	23,448千円	23,124千円		23,085千円		
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円	1,644千円	1,635千円		1,644千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円	939千円	1,953千円		2,220千円			
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	
		54,597千円	148,730千円	158,757千円		160,085千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[17,744千円]		[0千円]			
事業目的の達成度指標	異業種連携から生まれる新たな商品等の開発(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		20	20	20	20	20	
		実績（見込）		23	21	(20)	(20)	【毎年度】	
		(単位当たりコスト)		(2,374千円)	(7,082千円)	(7,938千円)	(8,004千円)		
	[うち事業拡大分]		-	-	[887千円]	[887千円]			
	達成率（見込）		115.0%	105.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	先進的アグリビジネススタートアップ取組件数(事業実施計画数)	目 標		7	6	10	10	10	
		実績（見込）		6	8	(8)	(10)	【毎年度】	
(単位当たりコスト)			(9,100千円)	(18,591千円)	(19,845千円)	(16,009千円)			
[うち事業拡大分]			-	-	[1,774千円]	[1,774千円]			
達成率（見込）		85.7%	133.3%	(80.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・本県農林水産業を成長産業として育成していくためには、食関連企業はもとより、従来つながりの薄かった多様な分野の事業者や大学等の研究機関との連携を進め、競争力を持った事業展開を推進していく必要がある。</p> <p>・当事業の事業費の大部分は国庫を活用して実施しているほか、農林漁業者等のビジネス活動に直結する新商品開発や販路開拓、加工施設・機械等の導入支援については、事業主にも負担を求めている。（国3/10～1/2、事業主7/10～1/2）</p>								
	評価	<p>・セミナーや交流会をワークショップ形式で実施するなど、参加者の中から効率的に連携を創出できるよう開催している。また、一連の活動から生まれた異業種連携によるプロジェクトのビジネス化を加速化するため、産官学に食関連企業を加えた共同チームの生産・加工等技術開発、新サービスの創出、商品企画等への支援をする。</p>							
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	消費流通課ブランド戦略班			
事業名	ひょうご農畜水産物ブランド販売戦略事業(平成25年度～)			連絡先	078-362-9213			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		25,340千円	21,896千円	24,254千円	23,935千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	24,416千円	21,088千円	23,346千円	23,092千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	924千円	808千円	908千円	843千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(9,502千円)	(10,947千円)	(12,127千円)	(11,967千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(10,949千円)	(12,127千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(15,838千円)	(0千円)	(0千円)	(11,968千円)		
	人件費②(a+b+c)		従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人		
			22,594千円	21,693千円	22,261千円	22,458千円		
	職員給与費 a	19,603千円	19,540千円	19,270千円	19,238千円			
	賞与引当金繰入額 b	1,363千円	1,370千円	1,363千円	1,370千円			
退職手当引当金繰入額 c	1,628千円	783千円	1,628千円	1,850千円				
総コスト(①+②)		従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人	従事人員 2.5人			
		47,934千円	43,589千円	46,515千円	46,393千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	ブランド戦略策定産地数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	3	2	2	3	累計60【7年度】
			実績(見込)	3	2	(2)	(3)	
			(単位当たりコスト)	(15,978千円)	(21,795千円)	(23,258千円)	(15,464千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
	海外市場開拓数(品目ごとの累計)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目 標	10	10	10	10	累計200【7年度】
			実績(見込)	10	11	(10)	(10)	
			(単位当たりコスト)	(4,793千円)	(3,963千円)	(4,652千円)	(4,639千円)	/
			[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
			達成率(見込)	100.0%	110.0%	(100.0%)	(100.0%)	
評 価	<p>・ 産品ごとのブランド戦略の策定・実践を進めるとともに、国内外でのプロモーションを実施することにより、ブランド力向上や販路の開拓や拡大を図ることができる。</p> <p>・ 事業コストの負担割合を県1/2、協議会等1/2として、コストに対し受益と負担の適正化を図っている。</p> <p>・ 全国規模の商談会でのPRや輸出促進関連の事業等を一体的・横断的に実施することにより、効率的な事業実施を行っている結果、順調に目標達成できている。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご	所管課班	農業改良課普及活動支援班
事業名	ひょうごの元気な「農」創造事業（平成24年度～）	連絡先	078-362-3421

事業に要するコスト	区分		29年度決算額	30年度決算額	31年度当初予算額	2年度当初予算額
	事業費①			29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円
経費内訳	報酬・賃金		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	委託料		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	補助金・交付金		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	貸付金		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他需用費等		29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円	29,000 千円
（財源内訳）	（国庫支出金）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（県債）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（その他[]）		(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	（一般財源）		(29,000千円)	(29,000千円)	(29,000千円)	(29,000千円)
人件費②（a+b+c）	従事人員	1.3人	従事人員	1.3人	従事人員	1.3人
		11,748 千円		11,280 千円		11,575 千円
	職員給与費 a	10,193 千円		10,161 千円		10,020 千円
	賞与引当金繰入額 b	709 千円		712 千円		709 千円
	退職手当引当金繰入額 c	846 千円		407 千円		846 千円
総コスト（①+②）	従事人員	1.3人	従事人員	1.3人	従事人員	1.3人
		40,748 千円		40,280 千円		40,575 千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	農業改良普及センターの支援により特定の産地について生産・加工・流通・販売・消費を結びつける新しい仕組み（フードチェーン）ができた品目数（地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）	目 標		26	26	26	26
実績（見込）			13	13	(17)	(26)	【2年度】
（単位当たりコスト）			(3,134 千円)	(3,098 千円)	(2,387 千円)	(1,565 千円)	
[うち事業拡大分]			—	—	—	—	
達成率（見込）			50.0%	—	(65.4%)	(100.0%)	
農業改良普及センターが選定した品目の兵庫県認証食品としての生産量または出荷量(t)(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）	目 標		1,500	1,560	1,630	1,700	累計 1,790
	実績（見込）		1,815	2,112	(2,300)	(2,500)	【3年度】
	（単位当たりコスト）		(22 千円)	(19 千円)	(18 千円)	(16 千円)	
	[うち事業拡大分]		—	—	—	—	
	達成率（見込）		121.0%	135.4%	(141.1%)	(147.1%)	

評価	農業を取り巻く情勢の変化に対応するため、マーケットインの発想で生産指導し、それと併せて出口（流通・販売先）を確保できるよう支援することが不可欠である。この活動により、新たな仕組みづくりができ、新たな需要と特産品が生まれている。
----	---

3年目の見直し	—
---------	---

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご		所管課班		農産園芸課農産班										
事業名		兵庫型スマート農業技術導入による競争力強化推進事業（令和2年度～）		連絡先		078-362-3494										
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額							
	事業費①		-		-		-		10,800千円							
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		0千円							
		委託料	-		-		-		0千円							
		補助金・交付金	-		-		-		10,000千円							
		貸付金	-		-		-		0千円							
		その他需用費等	-		-		-		800千円							
	（財源内訳）	（国庫支出金）		-		-		-		(10,000千円)						
		（県債）		-		-		-		(0千円)						
		（その他[]）		-		-		-		(0千円)						
		（一般財源）		-		-		-		(800千円)						
	人件費②（a+b+c）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.4人						
			-		-		-		3,593千円							
	職員給与費 a		-		-		-		3,078千円							
	賞与引当金繰入額 b		-		-		-		219千円							
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		296千円								
総コスト（①+②）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.4人							
		-		-		-		14,393千円								
[うち事業拡大分]		-		-		-		[0千円]								
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込		2年度目標		最終目標【年度】			
	スマートファーム(土地利 用型作物、露地野菜等)利 用面積(累計) (ひょうごスマート農業推進 方針(目標))		目 標		-		-		-		1,000 ha		12,000 ha			
			実績(見込)		-		-		-		(1,000 ha)		【12年度】			
			(単位当たりコスト)		-		-		-		-		[15千円]		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		-			
	達成率(見込)		-		-		-		-		(100.0%)					
	スマート農業技術を取り入 れた産地営農体系の確立 (累計)		目 標		-		-		-		5産地(箇所)		10産地(箇所)			
			実績(見込)		-		-		-		(5産地(箇所))		【4年度】			
			(単位当たりコスト)		-		-		-		-		(2,879千円)		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-		-			
達成率(見込)		-		-		-		-		(100.0%)						
評 価	<p>・担い手の減少や高齢化が進む中、限られた労働力で生産性向上や効率化、高品質化を図り、本県農業の競争力を強化していくため、基盤となる農地や農業用施設の整備を進めるとともに、本県の多様な営農条件に適した先端技術の積極的な導入・普及を推進していくことが重要である。</p> <p>・兵庫型スマート農業の実証に向けては、国研究機関や民間農機メーカーの開発技術を活用するなど導入効果だけでなく、費用対効果の検証や改善を行っていくことでコスト面での受益と負担の適正化を図っていく。また、実演会においても、本県と民間農機メーカーが技術面、費用面等で相互で協力を図ることで、事業コストの適正化・効率化を図る。</p> <p>・目標達成、単位当たりコストの適正化に向けて、効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。</p>															
	3年目の見直し	-														

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご		所管課班		農産園芸課花き果樹班		
事業名		ひょうご花き・果樹産地好循環構築事業（平成28年度～）		連絡先		078-362-3449		
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	2,194 千円	2,264 千円	5,142 千円	5,142 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	2,194 千円	2,264 千円	5,142 千円	5,142 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(1,132千円)	(2,571千円)	(2,571千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金〕）	(0千円)	(1,132千円)	(2,571千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(2,194千円)	(0千円)	(0千円)	(2,571千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
			3,614 千円	3,470 千円	3,561 千円	3,593 千円		
		職員給与費 a	3,136 千円	3,126 千円	3,083 千円	3,078 千円		
		賞与引当金繰入額 b	218 千円	219 千円	218 千円	219 千円		
退職手当引当金繰入額 c		260 千円	125 千円	260 千円	296 千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
		5,808 千円	5,734 千円	8,703 千円	8,735 千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		花き出荷量（活力あるふるさと兵庫実現プログラム（目標））	目 標	105,400 千本（鉢）	106,600 千本（鉢）	107,800 千本（鉢）	109,000 千本（鉢）	115,000 千本（鉢）
		実績（見込）	(81,279 千本（鉢）)	(106,600 千本（鉢）)	(107,800 千本（鉢）)	(109,000 千本（鉢）)	【7年度】	
		（単位当たりコスト）	(0.07 千円)	(0.05 千円)	(0.08 千円)	(0.08 千円)	/	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—		
		達成率（見込）	77.1%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
		果樹収穫量（活力あるふるさと兵庫実現プログラム（目標））	目 標	9,603 t	9,650 t	9,696 t		9,740 t
		実績（見込）	10,991 t	(9,650 t)	(9,696 t)	(9,740 t)	【7年度】	
		（単位当たりコスト）	(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)	/	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—		
	達成率（見込）	114.5%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・県産花き・果樹の競争力を高めて増産に繋ぐことで、生産者の所得向上、経営の安定化・拡大を図ることができる。 ・新技術や新品種のモデル導入にあたって、農林水産技術総合センターの知見や農業改良普及センターの指導を活用することで、効率的な事業執行を図る。 ・29年度の花き出荷量は目標を下回っており一層の努力が必要であるが、対前年実績は伸びており今後も継続的に革新的技術やオリジナル新品種等の導入、商談会の開催等新たな需要拡大により産出額の向上に取り組むことで目標達成が期待できる。（（29年度（対28年度比））：100.8%） ・新技術導入等の成果により、29年度の果樹収穫量は対前年及び目標を大きく上回る実績となった。（H28:10,661t→H29:10,991t） ・事業主体にも応分の負担を求めており、適正なコストで実施できているため、引き続き効果的な事業実施に努めていく。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	農産園芸課農産班			
事業名	ひょうごの野菜作導入促進事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3494			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		-		5,000千円		5,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0千円		0千円
		委託料	-		-		0千円		0千円
		補助金・交付金	-		-		5,000千円		5,000千円
		貸付金	-		-		0千円		0千円
		その他需用費等	-		-		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		-		(2,500千円)		(2,500千円)
		（県債）	-		-		(2,200千円)		(2,200千円)
		（その他[]）	-		-		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	-		-		(300千円)		(300千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-		-		0.6人		0.6人
			-		-		5,343千円		5,390千円
職員給与費 a		-		-		4,625千円		4,617千円	
賞与引当金繰入額 b		-		-		327千円		329千円	
退職手当引当金繰入額 c		-		-		391千円		444千円	
総コスト（①+②）	従事人員	-		-		0.6人		0.6人	
		-		-		10,343千円		10,390千円	
	[うち事業拡大分]	-		-		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		野菜生産量(年間) (地域創生戦略事業進捗指標(総括KPI))	目標	-	-	292,800 t	293,500 t	306,000 t	
		実績(見込)	-	-	(292,800t)	(293,500t)	【7年度】		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	[1千円]	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	-	-	-	(100.0%)			
	集落営農組織による野菜生産面積の拡大	目標	-	-	75 ha	81 ha	累計 100ha		
		実績(見込)	-	-	(96 ha)	(103 ha)		【5年度】	
		(単位当たりコスト)	-	-	(108千円)	(101千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)		-	-	(128.0%)	(127.2%)				
評価	<p>・ 水稻中心から野菜等を組み入れた経営転換を図っていく集落営農組織等に対して、栽培技術の習得、効率的な作業体系の構築、販売先の確保等支援をすることにより、将来にわたって安定的・継続的に野菜生産を行うことができ、野菜産地の拡大、新たな野菜産地の育成に繋げる。</p> <p>・ 効率的な技術実証・確立、販路開拓が可能で、試作等にかかる初期投資に対する支援を行い集落営農組織等の負担を軽減し、通常10年以上を要する経営転換から経営安定までに要する期間を約5年の短縮を図ること、適正なコストにより実施することに繋がっている。</p> <p>・ 事業コストの負担割合を県1/2、集落営農組織等の実施主体1/2として実施し、コストに対し受益と負担の適正化を図っている。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		畜産課肉用牛振興班			
事業名		但馬牛繁殖経営安定対策事業（平成28年度～）			連絡先		078-362-3454			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		R2年度当初予算額	
	事業費①		36,085 千円		35,084 千円		37,207 千円		37,209 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	35,896 千円		33,539 千円		35,647 千円		35,649 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	189 千円		1,545 千円		1,560 千円		1,560 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(18,042千円)		(17,542千円)		(18,603千円)		(18,604千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)		(0千円)		(18,604千円)		(18,605千円)	
		（一般財源）	(18,043千円)		(17,542千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員		0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
				3,614 千円		3,470 千円		3,561 千円		3,593 千円
		職員給与費	a	3,136 千円		3,126 千円		3,083 千円		3,078 千円
		賞与引当金繰入額	b	218 千円		219 千円		218 千円		219 千円
退職手当引当金繰入額		c	260 千円		125 千円		260 千円		296 千円	
総コスト（①+②）		従事人員		0.4人		0.4人		0.4人		
		39,699 千円		38,554 千円		40,768 千円		40,802 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績	30年度実績	31年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	神戸ビーフ認定率（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標）		目 標		75	75	75	75	75	
			実績（見込）		82	84	(75)	(75)	【3年度】	
			（単位当たりコスト）		(484 千円)	(460 千円)	(544 千円)	(544 千円)	/	
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率（見込）		109.5%	111.9%	(100.0%)	(100.0%)				
	神戸ビーフ供給数（地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)）		目 標		5,500	5,800	6,200	6,600	6,600	
			実績（見込）		5,557	5,383	(6,200)	(6,600)	【2年度】	
			（単位当たりコスト）		(7 千円)	(7 千円)	(7 千円)	(6 千円)	/	
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率（見込）		101.0%	92.8%	(100.0%)	(100.0%)					
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に神戸ビーフを供給するためには、繁殖雌牛の増頭が必要。 ・高齢者や小規模農家の廃業が進む中、更なる増頭と規模拡大を図っていくための支援である。 ・但馬牛子牛の高値価格が続く中、補助単価は据え置いており適正と考える。 ・規模拡大に向けた取組が進んでいる一方で、飛躍的な増頭に至っていないことから、引き続き支援が必要である。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	畜産課肉用牛振興班				
事業名	但馬牛受精卵による「神戸ビーフ」供給力強化対策事業(平成28年度～)			連絡先	078-362-3454				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	R2年度当初予算額				
	事業費①	6,000千円	5,730千円	6,450千円	6,450千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	3,420千円	3,420千円	3,450千円	3,450千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	2,580千円	2,310千円	3,000千円	3,000千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,710千円)	(1,710千円)	(1,725千円)	(1,725千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他[生産物売払収入・地域創生基金])	(2,580千円)	(2,310千円)	(4,725千円)	(3,000千円)			
		(一般財源)	(1,710千円)	(1,710千円)	(0千円)	(1,725千円)			
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,614千円	3,470千円	3,561千円	3,593千円			
		職員給与費 a	3,136千円	3,126千円	3,083千円	3,078千円			
		賞与引当金繰入額 b	218千円	219千円	218千円	219千円			
退職手当引当金繰入額 c		260千円	125千円	260千円	296千円				
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	
		9,614千円	9,200千円	10,011千円	10,043千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	31年度見込	R2年度目標	最終目標【年度】		
	神戸ビーフ認定率(活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標)	目標	75	75	75	75	75		
		実績(見込)	82	84	(75)	(75)	【3年度】		
		(単位当たりコスト)	(117千円)	(110千円)	(133千円)	(134千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	神戸ビーフ供給数(地域創生戦略推進事業進捗指標(事業KPI))	目標	5,500	5,800	6,200	6,600	6,600		
		実績(見込)	5,557	5,383	(6,200)	(6,600)	【2年度】		
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	101.0%	92.8%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 神戸ビーフの海外輸出の拡大に伴い神戸ビーフの需要は年々高まっている。 拡大する需要に対応するためには、但馬牛繁殖雌牛の増頭に加え、乳用牛や交雑種の借り腹による受精卵移植を活用した但馬牛子牛の生産拡大が必要である。 受精卵移植の体制の確立を図ることにより、生産性向上などが図られ、子牛生産拡大が期待できる。 但馬牛子牛の価格は依然高値であることから、乳用牛等への受精卵移植の体制整備支援・普及啓発を強化し、生産拡大による需要に即した神戸ビーフの供給を達成するため、引き続き支援が必要である。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		畜産課酪農養鶏班			
事業名		「ひょうごの酪農」生産力アップ推進事業（平成28年度～）			連絡先		078-362-3453			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		R2年度当初予算額	
	事業費①		9,970 千円		9,950 千円		9,977 千円		9,977 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	8,220 千円		8,220 千円		8,220 千円		8,231 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	1,750 千円		1,730 千円		1,757 千円		1,746 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(4,975千円)		(4,988千円)		(4,988千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔農林水産施設家畜売払収入、地域創生基金〕）	(1,500千円)		(4,975千円)		(4,989千円)		(1,500千円)	
		（一般財源）	(8,470千円)		(0千円)		(0千円)		(3,489千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,807 千円		1,736 千円		1,781 千円		1,797 千円	
	職員給与費 a		1,568 千円		1,563 千円		1,542 千円		1,539 千円	
	賞与引当金繰入額 b		109 千円		110 千円		109 千円		110 千円	
退職手当引当金繰入額 c		130 千円		63 千円		130 千円		148 千円		
総コスト（①+②）		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	
		11,777 千円		11,686 千円		11,758 千円		11,774 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		31年度見込	
	経産牛1頭あたりの生乳生産量(酪農肉用牛生産近代化計画)		目 標		8,424		8,508		8,593	
			実績(見込)		8,824		8,555		(8,628)	
			(単位当たりコスト)		(1 千円)		(1 千円)		(1 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
	達成率(見込)		104.7%		100.6%		(100.4%)		(100.0%)	
	大規模経営の酪農家戸数(80頭以上)(農林水産ビジョン2025(活動指標))		目 標		30		33		36	
			実績(見込)		25		25		(25)	
			(単位当たりコスト)		(471 千円)		(467 千円)		(470 千円)	
			[うち事業拡大分]		-		-		-	
達成率(見込)		83.3%		75.8%		(69.4%)		(100.0%)		
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・高能力乳用牛導入や優良雌選別精液、高能力受精卵活用による遺伝的改良と同時に、個体能力システム活用への支援による飼養管理技術の改善により、生乳生産量と乳質を向上ができる。 ・近年、物価の上昇が続くことから、事業に係る経費の単価等も増加したが、大規模化や省力化などによりコスト軽減が図られた。 ・1頭あたりの生乳生産量は、前年度と比較すると低下したものの当初の目標を達成できた。一方、平成30年度は酷暑の影響によって牛の廃用頭数の増加のため、80頭以上の酪農家戸数は停滞し目標達成できなかったが、R1年度は夏の異常気象がなかったこと、現場での暑熱対策によって状況の改善がみられている。 									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系		御食国ひょうご			所管課班		水産課漁場整備班			
事業名		豊かな海再生種苗量産技術開発事業（令和2年度～）			連絡先		078-362-9230			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		-		-		-		6,182千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		0千円	
		委託料	-		-		-		6,182千円	
		補助金・交付金	-		-		-		0千円	
		貸付金	-		-		-		0千円	
		その他需用費等	-		-		-		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		-		-		（0千円）	
		（県債）	-		-		-		（0千円）	
		（その他）	-		-		-		（0千円）	
		（一般財源）	-		-		-		（6,182千円）	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.1人
			-		-		-		899千円	
職員給与費 a		-		-		-		770千円		
賞与引当金繰入額 b		-		-		-		55千円		
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		74千円		
総コスト（①+②）		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.1人	
		-		-		-		7,081千円		
[うち事業拡大分]		-		-		-		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	ナマコの種苗生産数 （単位：尾）		目標		-	-	-	25,000	50,000	
			実績（見込）		-	-	-	(25,000)	【4年度】	
			（単位当たりコスト）		-	-	-	-	/	
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
			達成率（見込）		-	-	-	(100.0%)		
			目標		-	-	-	-	-	
			実績（見込）		-	-	-	-	-	
			（単位当たりコスト）		-	-	-	-	/	
			[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率（見込）			-	-	-	-				
評価	<p>・本県瀬戸内海では、水質規制等により水質が大きく改善する中、栄養塩濃度の大幅な低下により貧栄養化が進行しており、養殖ノリの色落ちやイカナゴの不漁、エビやカレイ等底魚類の減少など水産資源への悪影響が顕在化している。</p> <p>・このため、従来から実施してきた資源増強のための種苗放流に加え、漁場環境の改善や生物生産性の回復に効果があると考えられるナマコ等の種苗放流を積極的に行うことで、海底からの栄養塩供給を促し、豊かな海の再生に向けた栽培漁業の新たな役割を果たしていく。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご			所管課班	水産課漁政班			
事業名	漁業人材確保事業（平成28年度～）			連絡先	078-362-3478			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	94,500千円	92,937千円	114,766千円	103,978千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	94,500千円	92,937千円	114,766千円	103,978千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(47,250千円)	(46,468千円)	(57,383千円)	(51,989千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(0千円)	(46,469千円)	(57,383千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(47,250千円)	(0千円)	(0千円)	(51,989千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			904千円	868千円	891千円	899千円		
		職員給与費 a	784千円	782千円	771千円	770千円		
		賞与引当金繰入額 b	55千円	55千円	55千円	55千円		
退職手当引当金繰入額 c		65千円	31千円	65千円	74千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		95,404千円	93,805千円	115,657千円	104,877千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		新規漁業就業者数/年間(人) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目 標	50	50	50	50	50
		実績(見込)	64	48	(50)	(50)	【毎年度】	
		(単位当たりコスト)	(1,491千円)	(1,954千円)	(2,313千円)	(2,098千円)	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率(見込)	128.0%	96.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	漁船施設貸与数	目 標	10	10	10	10	10	
		実績(見込)	7	10	(8)	(10)	【毎年度】	
(単位当たりコスト)		(13,629千円)	(9,381千円)	(14,457千円)	(10,488千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	[0千円]			
	達成率(見込)	70.0%	100.0%	(80.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業就業者は10年前と比較して約23%減少しており、全体の約40%が60歳以上と高齢化が進んでいる。そのため、複合経営等のもうかる水産業への誘導、新規就業者等の初期投資の負担軽減により、次世代を担う漁業者の育成・確保を図る。 ・ 県漁連や漁協が事業主体となり、浜の担い手漁船リース緊急事業（国庫補助）を実施中であり、本事業と一体的に実施することでコストの低減を図っている。 ・ 次世代を担う漁業者の育成・確保、複合的な漁業経営モデルの普及を図ることにより、漁業就業者の定着を目指す。 							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	御食国ひょうご				所管課班	水産課漁場整備班			
事業名	ひょうごの豊かな海を未来へ繋ぐプロジェクト事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9230			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		-		2,500千円		2,500千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0千円		0千円
		委託料	-		-		0千円		0千円
		補助金・交付金	-		-		2,500千円		2,500千円
		貸付金	-		-		0千円		0千円
		その他需用費等	-		-		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		-		(1,250千円)		(1,250千円)
		（県債）	-		-		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金〕）	-		-		(1,250千円)		(0千円)
		（一般財源）	-		-		(0千円)		(1,250千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-		-		0.5人		0.5人
			-		-		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	-		-		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	-		-		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		-		-		326千円		370千円	
総コスト（①+②）	従事人員	-		-		0.5人		0.5人	
		-		-		6,953千円		6,992千円	
	〔うち事業拡大分〕	-		-		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		豊かな海の普及啓発活動への参加者数/年間(人)	目標	-	-	2,500	2,500	2,500	
		実績（見込）	-	-	(3,000)	(2,500)	【毎年度】		
		（単位当たりコスト）	-	-	(2千円)	(3千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
		達成率（見込）	-	-	(120.0%)	(100.0%)			
		目標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	/		
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
	達成率（見込）	-	-	-	-				
評価	<p>・貧栄養化が進む瀬戸内海の現状や、豊かな海を取り戻すための漁業関係者の取組等を広く県民の方々に知ってもらうため、県内各地で地引き網等の漁業体験や漁船乗船体験、出前講座を実施し、実体験を通じて豊かな海の必要性の理解してもらうことで、再生に向けた取組の賛同者を増やしていく。</p> <p>・R元年度は、出前講座等の参加者が想定より増えたことから、目標を上回る実績となる見込み。これにより参加者1名あたりコストは減少し、事業実施効果は高まっている。</p> <p>・R2年度からは、R3年度秋に開催される第41回全国豊かな海づくり大会のPRも併せて実施することで、より効果的な事業展開を図っていく。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	田舎暮らし楽農生活応援事業(平成28年度～)				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	5,843千円		6,655千円		15,150千円		12,886千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		2,000千円		2,200千円		0千円
		補助金・交付金	5,600千円		4,500千円		12,500千円		12,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	243千円		155千円		450千円		386千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(2,921千円)		(3,327千円)		(7,575千円)		(6,443千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[地域創生基金])	(0千円)		(3,328千円)		(7,575千円)		(0千円)
		(一般財源)	(2,922千円)		(0千円)		(0千円)		(6,443千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		9,457千円		10,125千円		18,711千円		16,479千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目標		1,120	1,130	1,140	1,150	1,200	
		実績(見込)		1,186	1,131	(1,145)	(1,150)	【7年度】	
		(単位当たりコスト)		(8千円)	(9千円)	(16千円)	(14千円)		
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-			
	達成率(見込)		105.9%	100.1%	(100.4%)	(100.0%)			
	田舎暮らし農園施設整備、空き家改修の実施地区数(累計) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目標		20	30	40	50	60	
		実績(見込)		13	18	(20)	(50)	【3年度】	
		(単位当たりコスト)		(727千円)	(563千円)	(936千円)	(330千円)		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		65.0%	60.0%	(50.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住や二地域居住を支援する施設整備(ハード)事業と研修(ソフト)事業を合わせて実施することで、有効かつ効果的な事業となり、農村部の活性化を図り、地域創生を推進することができる。 ・地元市町や県民局等の関係機関と連携して、効果的に事業周知を進めるなど、最低限のコストで効率的な事業実施に努める。 ・引き続き都市住民が農山村を訪れ、農作物の栽培体験など『農』に関わる仕組みを創出していくことにより目標達成に努める。 (参考 元年度当初から空き家を活用して農林漁業体験民宿を整備する場合、補助上限額を1,000千円→1,500千円とする拡充を実施)								
3年目の見直し									